

これからの働き方とくらし方を考える 開催報告

開催日時:2012年 3月3日(土)13:30~16:30

会 場:中野区男女共同参画センター

参加人数:62名(地域生協名36名、全労済1名、中野区在住・在勤16名、中野区3名、東京都生協連6名)



司会の生活クラブ
生協連合会 野崎氏

東日本大震災をきっかけに社会が様々に変化しました。生き活きくらししていける社会にするためのワークライフバランス。ざっくばらんとーくは3回目となる中野区男女共同参画センターと共催し、中野区区民や生協組合員、職員に広く呼びかけました。基調講演ではボランティアの市民活動をしながらか、生き活き自分らしいくらし方を実践されている、青山氏より、ワークバランスとはどのような社会なのかをわかりやすくお話し頂きました。仕事や暮らし方を通じて社会にどう関わっていけば良いか考えるきっかけとなるお話を伺えました。第2部では「ワールド・カフェ」の手法を使って会話を楽しみながらみんなで色々な気づきを得る事が出来ました。笑顔がキーワード!笑顔の筋トレから始まった、ワールド・カフェは終始和やかで色々な年代の方や多くの方と有意義な話し合いが出来ました。

《基調講演》

これからの働き方とくらし方を考える~今こそ「えがお」の輪をつなげるために~

講師:青山侑氏<明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授>

成熟社会とは『生活の質の向上をあきらめない社会』で高齢化社会というのではない。ワークライフバランスは労働時間の短縮だけの問題ではない。価値観の多様化、人々がそれぞれ満足し納得しているかの問題。心理学が大きく関わっている。困っている人は困っていると言えない。人々の考えていることはなかなか解らない。価値観の多様化に行き当たる。



講師の青山侑氏

まちづくりの考え方も変化してきた。都市計画だけでなく福祉・教育・経済・環境など総合的に考えるようになりました。シカゴの熱帯夜で商店が衰退したコミュニティーは孤独死が増えた。ニューヨークは都心に人が住んでいて、ミュージカル普段着で見に来る。人々が文化を育てている。都市の魅力の一つに文明・文化がある。高度な文化や音楽を聴いたりして自国民が楽しまないと、単なる見学だけでは観光立国とはならない。ワークライフバランスの基になる成熟社会では遠慮しないで生活を楽しまなければならない。ワークライフバランスをとっていくとすべては良くなる。日本はアメリカ、ヨーロッパに比べて、インフラ、安全、そして快適である。子どもだけで電車に乗れるのは日本だけ。日本が一番ワークライフバランスをやりやすい。

中間層の再形成が大事である。貧困層が増え若者の間で中間層が形成されにくくなった。社会的包括力。雇用、福祉、教育が大事。社会的排除をなくす。ワークライフバランスはみんなが適度に働いて生活の喜びを享受する社会。貧困問題とか失業問題が解決されなくて一部の人だけがワークライフバランスを享受することはありえない。個人の問題でもあるが社会の問題でもある。全体のバランスをとる。生活手当だけではだめ雇用、教育とか、雇用をもたらす方が良い。性別、人種、社外取締役が過半数。日本はネガティブリスト化失業者が町にあふれているままではワークライフバランスはありえない。グローバル化してきたが日本の強み良質な労働力があつたのに崩れてきている。市場原理とガバナンス市場原理の撤退バランスが大切。

市民活動の世界の高まり。税による行政、利益追求をする市場原理による企業、どちらでもない市民活動。理論的には市民活動のシェアが高まってきている。生活協同組合、社会福祉法人、地域コミュニティ活動、アメリカの財団活動、ヨーロッパの色々な協同組合活動が定着している。これらがバランスよく行われてないと個人個人のワークライフバランスが果たせない。

男女平等では女性の政治参画、きわめて劣っている。政治的意思決定、大企業意思決定、女性がいない。教科書10社のうち2社しか男女平等を書いていない。消費者問題1社だけ。トイレ問題、名簿の問題、家庭教育重視を教育者は言ってほしくない。家庭教育できる状態では無い家庭が多い。ニューヨークの小学校朝8時から夕方4時まで授業がある。複数教師、朝食給食を出している。東京でも就学援助率が5割を越えている区がある。粗末なものでいいので朝食給食を出したらいい。成績に大きな差がでる。30代働き盛りの一人当たりの所得が65歳全平均より少ないのはおかしい

地域の文化が大事。市民交流の文化は地域に根ざしている。登米市の避難活動。政府や行政が行われないことが市民によるボランティア活動、ちょっとした活動があちこちでおこなわれている。やさしい生活者の視点で行われている。防災のときに生かされている。生活者の視点が非常に大事でこれがワークライフバランスに生かされることが大切。生活者としての実態からいろいろなことを判断するのがワークライフバランスである。



レインボー（二児の）パパ
講師の東浩二氏

《第2部 ワールドカフェ》

～笑っている大人が未来の社会を明るくする～

講師：東 浩二氏 〈NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事〉

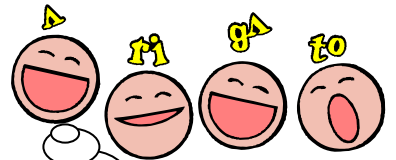
ファザーリング・ジャパンのコンセプトは『笑っているパパになろう！父親を楽しもう』です。プラス思考で暮らし、前向きに生きていくこと。日ごろの口癖をプラスにしていく。“疲れた、疲れた”は子どもに与える影響力を考えると一言いえないですね。タイトルにあるように～笑っている大人が未来の社会を明るくする～です。キーワードは笑顔。笑顔は筋トレで作れます。さあ口角筋を上げてまゆをあげて笑顔を作ってワールド・カフェを始めましょう。

ワールド・カフェの進め方（1つのグループは3～4人）

- * テーマに基づいて、グループ内で対話しながら、出てきた内容をポストイットにメモで書いておく。
- * 自分及び自分以外の人が語った言葉をキーワードに書きとめておく→書き残された言葉によってグループ替えの際にインスピレーションが高まります。

＜ワールド・カフェのエチケット＞進行上の注意点

- ① 相手の話を最後まで聴く
 - ② 発言は短めに（1回1分以内）
 - ③ 意見を否定しない/議論しない
 - ④ 模造紙にキーワードをメモする
 - ⑤ 正解を求めない（脱線OK!）
 - ⑥ 自分の言葉で話す（体験談で）
- ★ここで聞いた話はこの場限り～お互いに話しやすい環境づくりに協力を



“話す”と“語る”の違いは？
話すは舌で言う。

語るは吾（自分）で言う。

自分の言葉で語りましょう！

第1ラウンド！

「私が**大切**にしていること（モットー・信条・ポリシー）

絆

を大きく書いて始めましょう！



第2ラウンド！

もし**3日**しか生きられないとしたら？

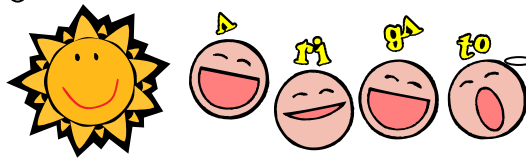
時間の有効活用

もし**30日**しか生きられなかったら？行動計画？
もし**30年**しか生きられなかったら？えっ!？

第3ラウンド！

夢これからもやっていきたいことは？

夢は10回口にする**と叶う？!**



十人十色。有名な人の話を聞くのも良いが普通の人の話を色々聞くのも良かった。



自分の意見を言って自分に意見を高めることも出来た。3日しか生きられなかったら家族と過ごす。普通に過ごす。生きている上で普通に過ごすという大切さに気づいた。



色々価値観がある。プラスの考え方とマイナスの考え方があってそれぞれバランスが取れているのかなと思った。

感謝の反対語は当たり前。当たり前と思ったら感謝が出来なくなってしまう。究極のありがとうはお母さんに生んでくれてありがとう。自分が太陽だと思ったら世の中難しいこともあるが自分が太陽になって輝いていれば周りに不思議と集まってきます。そう考えると自分のあり方がすべて決めているのではないかと思います。太陽が集まった職場、地域はよい所になるのではないのでしょうか。